

2023・9

# 柏の景気情報

令和5（2023）年9月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

TEL : 04-7162-3305

FAX : 04-7162-3323

URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E-mail : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

# 柏の景気情報 (令和5年9月の調査結果のポイント)

## ★調査結果のまとめ

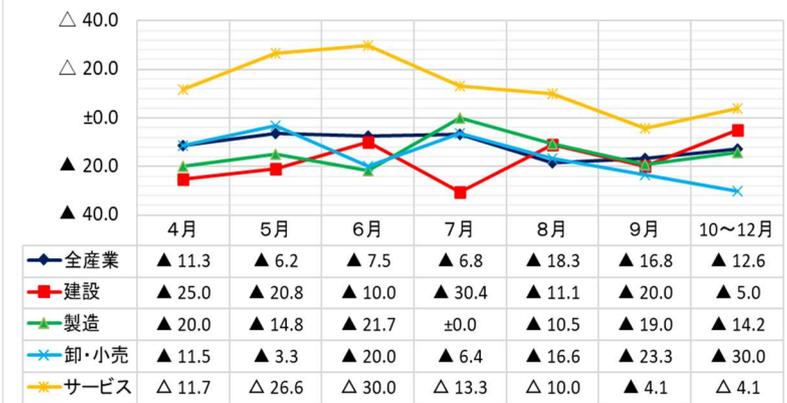
回答期間: 令和5年9月21日～令和5年10月4日 調査対象: 柏市内175事業所及び組合にヒアリング、回答数95

### 人材確保に向けた賃上げ+資材やエネルギー価格の高騰で中小企業にとって乗り越える課題は多い…

9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲16.8(前月水準▲18.3)となりマイナス幅が1.5ポイント縮小した。

サービス業では、飲食業を中心に客数の回復傾向がみられるものの物価高や天候不順が影響し懸念は拭えず。建設、製造、卸小売業では、円安による輸入資材の価格高騰が頭を悩ませる。同業者でまとまった量の材料を共同で仕入れ、原材料費を下げている等の声も聞かれた。業種を問わず、エネルギー価格高騰によるコスト増や人手不足は深刻な課題となっており、その対策の実施は待ったなしの状況である。

柏の景気情報・産業別業況DI



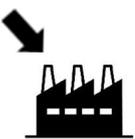
## ★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



### 建設業

「仕入れ先からの値上がり続けていた単価が少し落ち着いてきたが、工務店単価は以前のままで厳しい状態が続いている」とび「同業者に声をかけて大量仕入れで材料費を抑えたり、価格交渉するなどして価格転嫁を優先的に行っているが、労務費・販管費の上昇分までは追いつけていない」(管工事業)「(市では)古い畳は引き取ってもらえず、お客様の畳を引き取ると処分費が高額になってしまう状況。粗大ゴミの様に一律いくらなどで引き取りができれば業者もお客様も喜ぶのではないかと思います」(畳工事請負・畳製造販売)



### 製造業

「材料・仕入高により利益を圧迫。(その中で半導体関連、工業用ミシン→低調。自動車部品→順調)」(金属素形材製品製造)「化粧品容器、医療品容器ともに既存受注に勢いが無い。大きな案件が具現化すれば一気に上昇もありうるのだが現時点では確約取れていない」(プラスチック加工)「ガソリンや電気料金等の価格上昇に伴う値上げを何とかしたいと考えるが、具体的に個々の商材に対し、どれだけの価格転嫁が良いのかが難しい。特に変動するものについては何度も価格改定しなければならず顧客にも提示しづらい。エネルギー関連の価格は早く安定させて欲しい」(自動車付属品製造業)



### 卸・小売業

「物価上昇の影響で、嗜好品(主にケーキ)の購買が鈍っているように思う」(洋菓子製造・販売店)「8~9月は暑さの影響か、人通りもイベントも少なく、経営は非常に厳しい状況だった」(花・植木小売)「新型コロナウイルス関連の段階的な規制緩和に伴い、外出機運が高まった今年は、徐々にショッピングも都心回帰傾向にあり、全国展開の店舗や高単価商材の店舗については準核都市が苦戦している状況。また、原材料や電力高騰に伴いコストが増加傾向にあるため、利益ベースでは厳しい状況が続く」(その他の各種商品小売業)「卸売業は中間業者となることが多いため、量販店・消費者の価格転嫁への理解が得られなければ板挟みとなり苦しい」(食料・飲料卸売業)



### サービス業

「コロナにより同業他社の閉店が続く、競争相手が減少したため来店者数が増加。さらに今まで外出を控えていた方の申込が一気に増加した。しかし、今後どうなるかは未知数であり楽観はできない」(旅行社)「コロナ明けで社会情勢は元に戻りつつあるものの、燃料費の高騰が大きく収益に影響を与えている。加えて輸送運賃は据え置かれている状況で、ここ数年は更に厳しくなるのではないかと危惧している」(一般貨物自動車運送業)「インボイス導入による事務処理や取引先の対応が大変。体力の無いところは、きつい徴収方法だと考えている」(不動産賃貸・管理業)

## ★全国の商工会議所早期景気観測調査(CCI-LOBO)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲16.8に対し、「CCI-LOBO」が▲9.0で、柏のほうがマイナス幅が7.8ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種はなし。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業、サービス業である。

# 今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI ≥ 50	好調 50 > DI ≥ 25	まあまあ 25 > DI ≥ 0	不振 0 > DI ≥ ▲25	極めて不振 ▲25 > DI
<b>業況DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 16.8	 ▲ 20.0	 ▲ 19.0	 ▲ 23.3	 ▲ 4.1
CCI-LOBO	 ▲ 9.0	 ▲ 16.5	 ▲ 8.5	 ▲ 9.2	 0.2
<b>売上DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 3.1	 ▲ 5.0	 ▲ 23.8	 ±0.0	 37.5
CCI-LOBO	 4.9	 ▲ 5.7	 5.7	 1.7	 16.6
<b>採算DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 13.6	 ▲ 20.0	 ▲ 23.8	 ▲ 20.0	 8.3
CCI-LOBO	 ▲ 13.3	 ▲ 24.1	 ▲ 12.5	 ▲ 15.7	 ▲ 4.4
<b>仕入単価DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 63.1	 ▲ 50.0	 ▲ 66.6	 ▲ 73.3	 ▲ 58.3
CCI-LOBO	 ▲ 69.6	 ▲ 73.3	 ▲ 66.3	 ▲ 73.9	 ▲ 67.9
<b>従業員DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 17.8	 50.0	 9.5	 3.3	 16.6
CCI-LOBO	 22.8	 34.0	 13.5	 19.2	 30.7
<b>資金繰りDI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 8.4	 ▲ 10.0	 ▲ 4.7	 ▲ 20.0	 4.1
CCI-LOBO	 ▲ 11.8	 ▲ 8.6	 ▲ 13.3	 ▲ 16.7	 ▲ 9.9

# CC I - L O B O

## 商工会議所早期景気観測(9月速報)

調査期間：2023年9月13日～20日

調査対象：全国の328商工会議所が2,474企業にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

業況DIは、4か月連続で足踏み続く

先行きは、円安の伸長等によるコスト増で懸念続く

9月の全産業合計の業況DIは、▲9.0と前月比から△0.1ポイントの改善

建設業では、国土強靱化事業をはじめとする公共工事の受注が堅調に推移し、改善した。小売業では、高付加価値商品の販売やインバウンド需要が好調な百貨店が下支えし、改善した。また、卸売業でも小売業からの引き合い増加で改善した。

一方、製造業では、円安の伸長による輸入部材の価格高騰により悪化した。サービス業では、慢性的な人手不足により、飲食・宿泊業を中心に、悪化となった。

各業種の業況はまだら模様となったものの、エネルギー価格の高騰によるコスト増や深刻な人手不足等、業種を問わない課題は山積しており、中小企業の業況は4か

月連続で足踏みが続いている。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

業種別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、建設業、小売業、サービス業は改善。製造業、卸売業は悪化した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

#### 【製造業】

「円安が伸長しており、輸入部材が再び高騰している。加えて、電気・ガソリン代等のエネルギー価格の高騰により上昇したコスト分の価格転嫁が追い付かず、採算は厳しい状況が続いている」(建具製造業)

「電気代の高騰による負担を軽減するべく、補助金を活用して太陽光発電設備を導入した」(民生用電気機械製造業)

#### 【小売業】

「インバウンド等の増加で平日の観光客も増加しており、売上は好調に推移している。客足が増加するに伴い、従業員の増員が急務だが、求人に対する応募数が少なく、さらに短期間での離職も多いため、人材の定着に向けた環境整備に努めていく」(百貨店)

「コスト増加を背景としたインフレに伴い、商品単価が上がり、売上は増加。一方で、物価高で客足の減少・買い控えは続いている」(調理器具小売業)

#### 【建設業】

「国土強靱化事業により、公共工事の受注数は堅調に推移している。一方で、公共工事は価格転嫁の動きが鈍いため、仕入価格の度重なる高騰により、採算割れとなる工事も出てきている」(一般工事業)

「工事案件が増加しているのは嬉しいが、同業他社の賃上げ等で新卒の採用が厳しくなっており、人手不足感は増している」(電気工事業)

#### 【卸売業】

「円安の影響で輸入品の価格が高騰しており、再び収益が悪化している。現在は輸入を中心に事業を展開しているが、今後も円安基調が継続する見込みのため、輸出への事業転換を視野に事業の拡大を図っていく」(機械器具卸売業)

「人材確保に向けた賃金の引き上げを行うべく、設備投資による生産性向上や働き方改革を通じた原資の確保を進めている」(建築材料卸売業)

#### 【サービス業】

「仕入価格や電気・ガス等のエネルギー価格の高騰が続いており、収益の改善に至っていない。足元で感染者も拡大傾向にあり、団体客の宴会のキャンセルが発生する等、影響が出ている」(飲食店)

「働き方改革への対応は、自助努力だけでは対応が追いついておらず、取引先や顧客に制度に伴う運用変更への理解・周知に力を入れていく」(運送業)

### 全国・産業別業況DIの推移

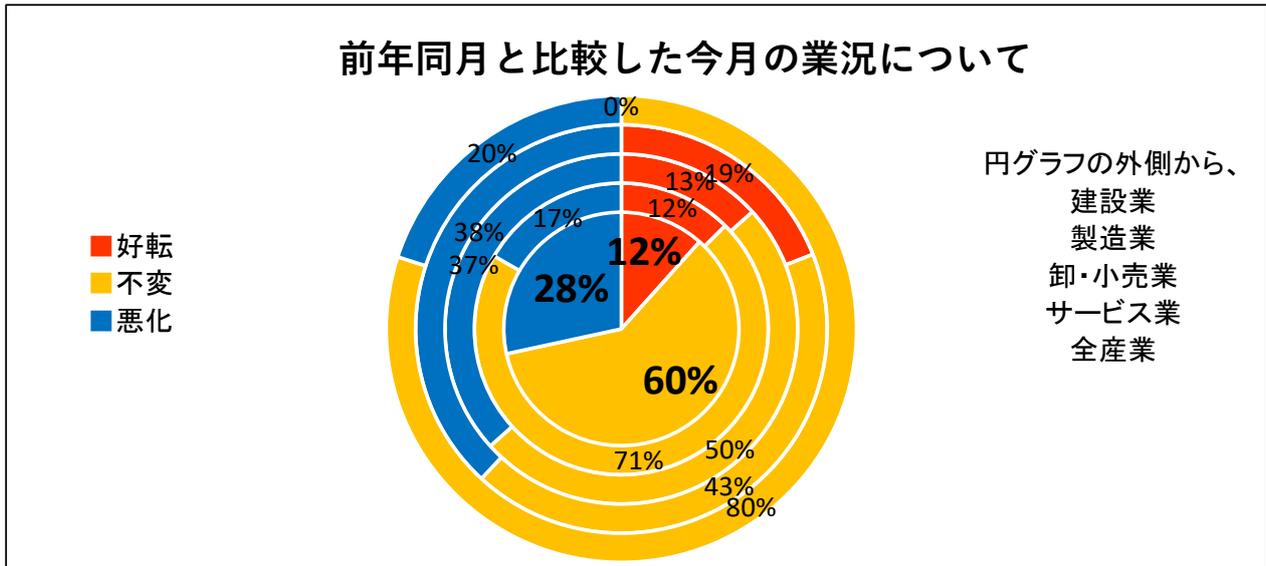
「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
4月	▲11.1	▲23.1	▲13.9	▲15.0	▲15.9	△5.6
5月	▲6.2	▲17.0	▲9.2	▲11.0	▲13.8	△11.9
6月	▲8.9	▲17.8	▲8.8	▲13.2	▲16.7	△4.7
7月	▲9.8	▲19.2	▲4.1	▲20.9	▲18.5	△2.4
8月	▲8.9	▲18.8	▲5.6	▲22.6	▲12.7	△3.4
9月	▲9.0	▲16.5	▲8.5	▲19.7	▲9.2	△0.2
見通し	▲12.9	▲15.9	▲12.1	▲18.9	▲17.2	▲5.7

# 令和5年（2023年）9月の動向

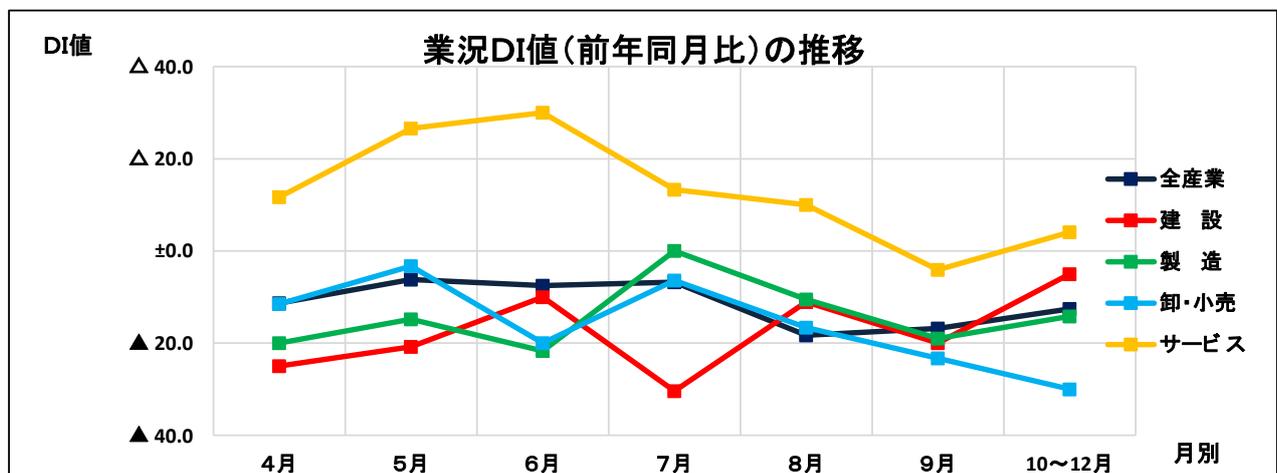
## 【業況について】

- 9月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲16.8（前月水準▲18.3）となり、マイナス幅が1.5ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月（10月から12月）の先行き見通しについては、全産業では、▲12.6（前月水準▲12.6）となり、ポイント差±0で変わらない見通しである。



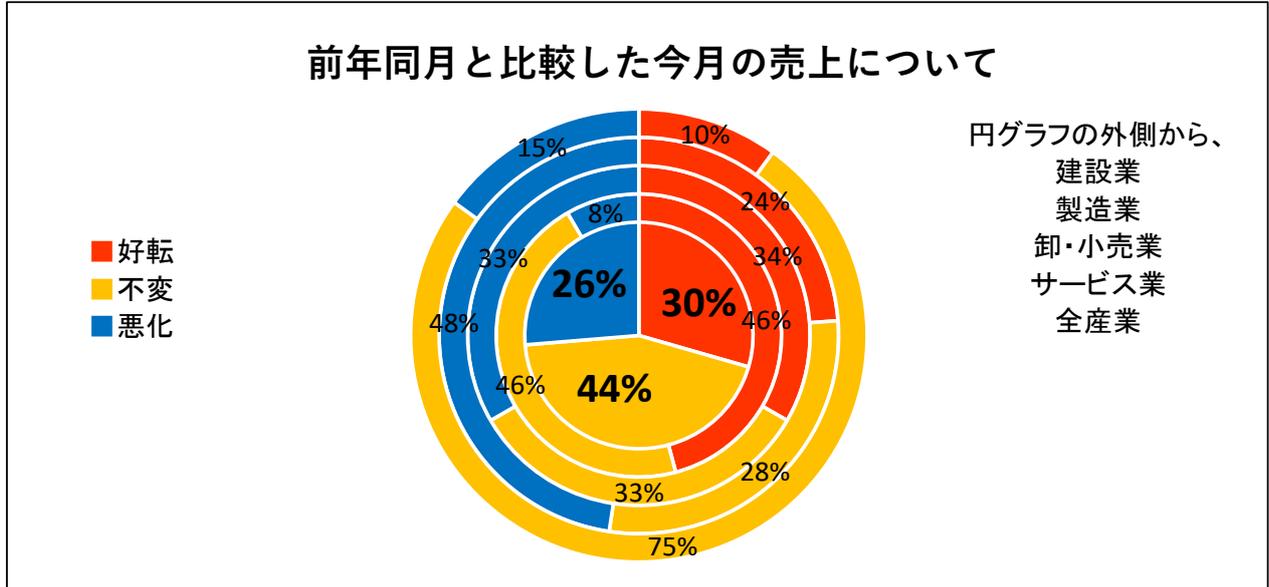
業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和5年						先行き見通し	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月（9月~11月）	
全産業	▲11.3	▲6.2	▲7.5	▲6.8	▲18.3	▲16.8	▲12.6（▲12.6）	
建設	▲25.0	▲20.8	▲10.0	▲30.4	▲11.1	▲20.0	▲5.0（△11.1）	
製造	▲20.0	▲14.8	▲21.7	±0.0	▲10.5	▲19.0	▲14.2（△10.5）	
卸・小売	▲11.5	▲3.3	▲20.0	▲6.4	▲16.6	▲23.3	▲30.0（▲25.0）	
サービス	△11.7	△26.6	△30.0	△13.3	△10.0	▲4.1	△4.1（▲10.0）	



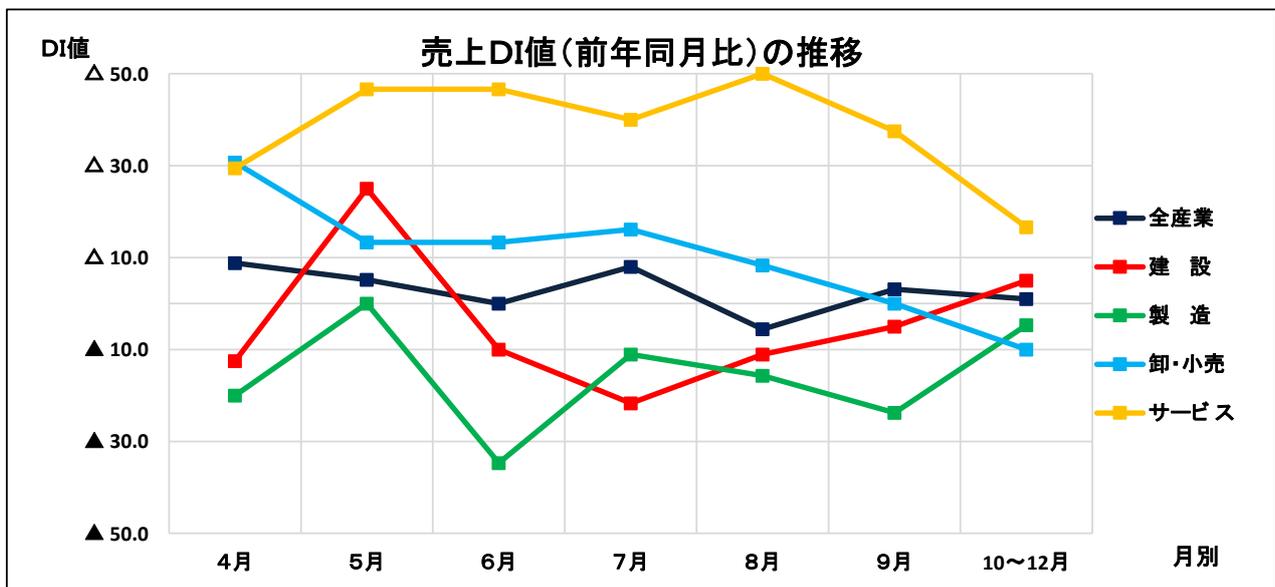
【売上について】

- 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲3.1(前月水準▲5.6)となり、プラス幅が8.7ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△1.0(前月水準▲4.2)となり、プラス幅が5.2ポイント拡大した。



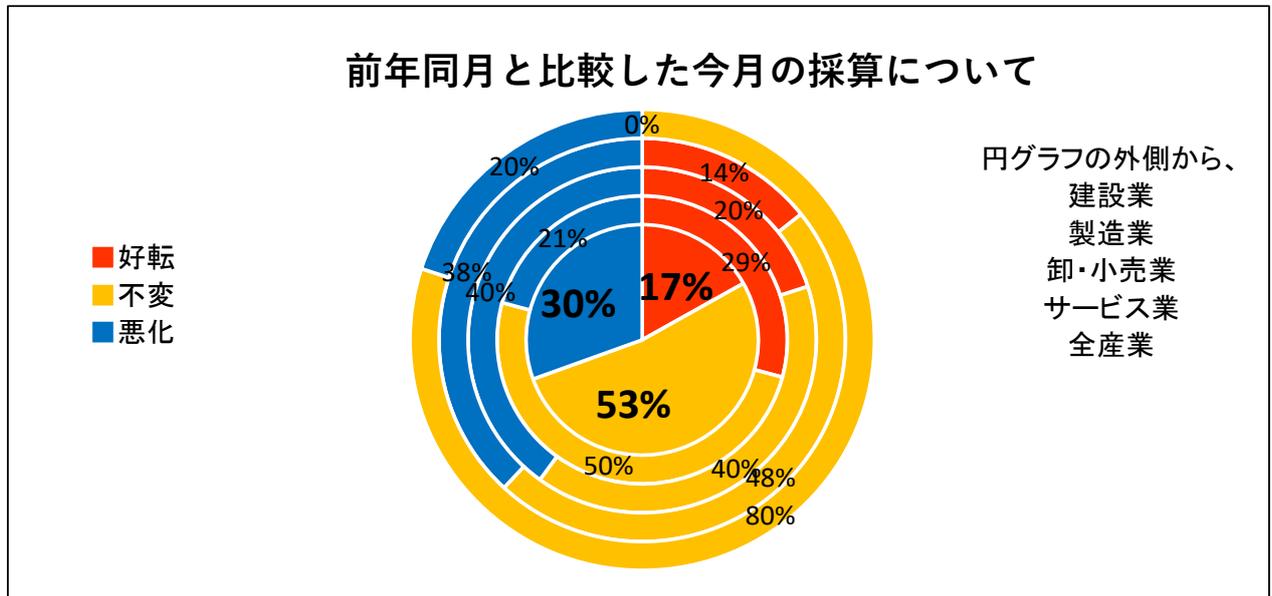
売上DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

	令和5年						先行き見通し
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月(9月~11月)
全産業	△8.8	△5.2	±0.0	△8.0	▲5.6	△3.1	△1.0(▲4.2)
建設	▲12.5	△25.0	▲10.0	▲21.7	▲11.1	▲5.0	△5.0(△16.6)
製造	▲20.0	±0.0	▲34.7	▲11.1	▲15.7	▲23.8	▲4.7(△15.7)
卸・小売	△30.7	△13.3	△13.3	△16.1	△8.3	±0.0	▲10.0(▲16.6)
サービス	△29.4	△46.6	△46.6	△40.0	△50.0	△37.5	△16.6(▲10.0)



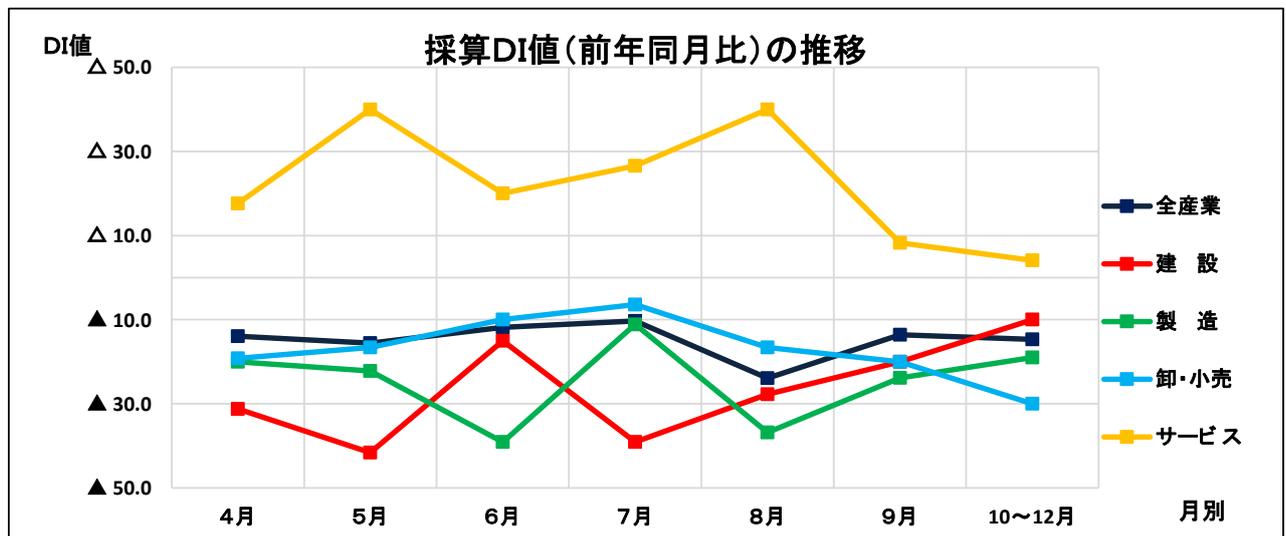
【採算について】

- 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲13.6(前月水準▲23.9)となり、マイナス幅が10.3ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲14.7(前月水準▲18.3)であり、マイナス幅が3.6ポイント縮小する見通しである。



採算DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

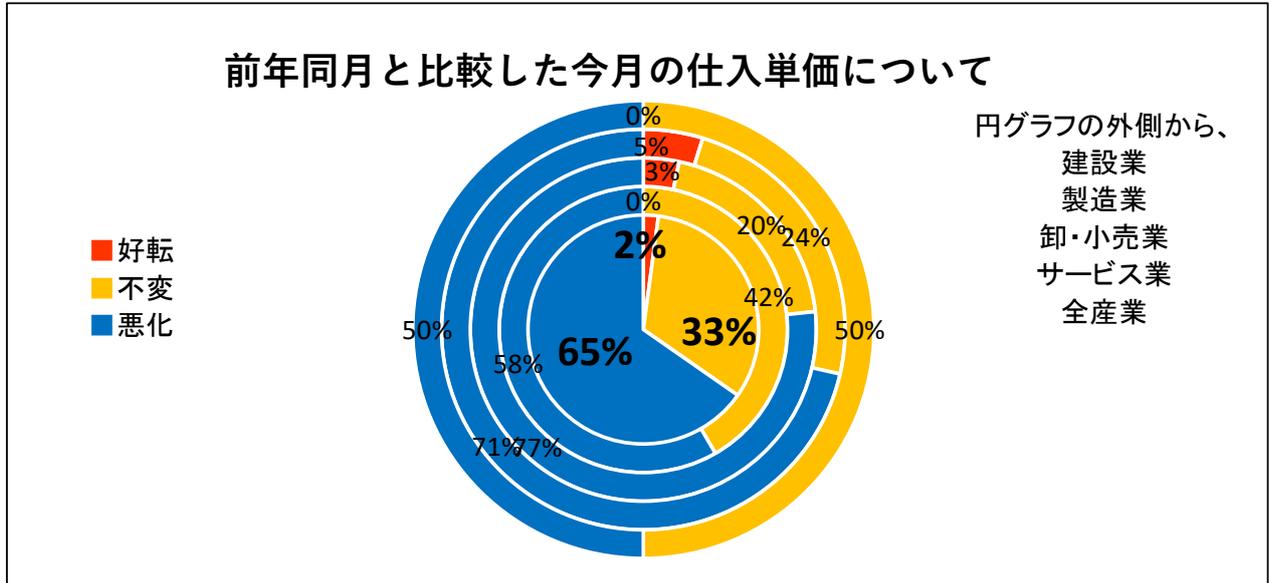
	令和5年						先行き見通し
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月(9月~11月)
全産業	▲13.9	▲15.6	▲11.8	▲10.3	▲23.9	▲13.6	▲14.7(▲18.3)
建設	▲31.2	▲41.6	▲15.0	▲39.1	▲27.7	▲20.0	▲10.0(±0.0)
製造	▲20.0	▲22.2	▲39.1	▲11.1	▲36.8	▲23.8	▲19.0(▲10.5)
卸・小売	▲19.2	▲16.6	▲10.0	▲6.4	▲16.6	▲20.0	▲30.0(▲20.8)
サービス	△17.6	△40.0	△20.0	△26.6	△40.0	△8.3	△4.1(▲10.0)



【仕入単価について】

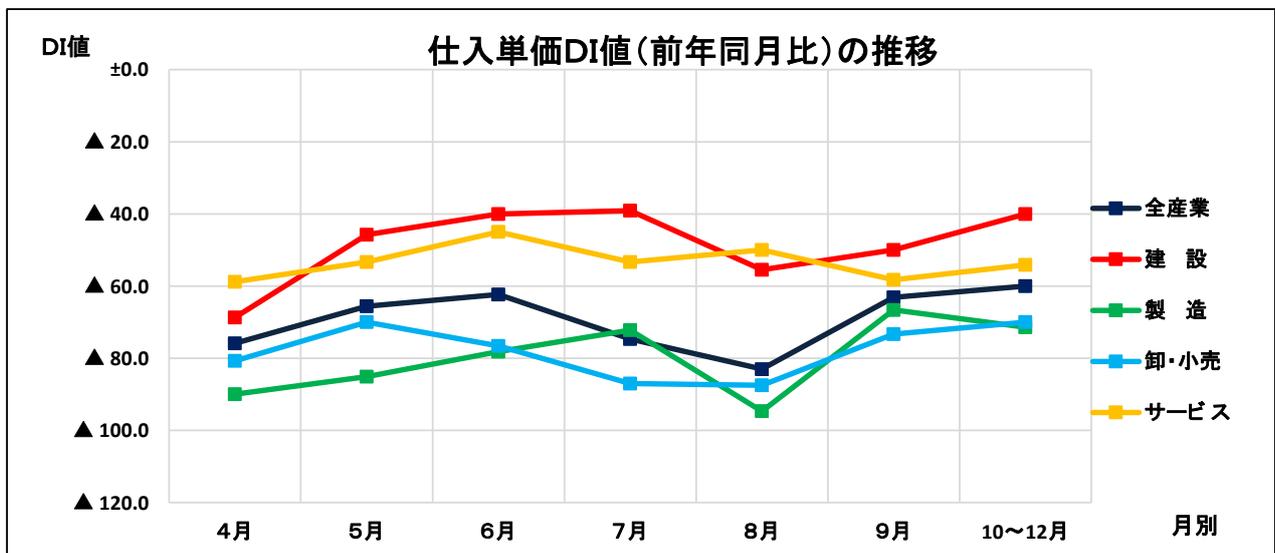
○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲63.1(前月水準▲83.0)となり、マイナス幅が19.9ポイント縮小した。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲60.0(前月水準▲64.7)となり、マイナス幅が4.7ポイント縮小する見通しである。



仕入単価DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

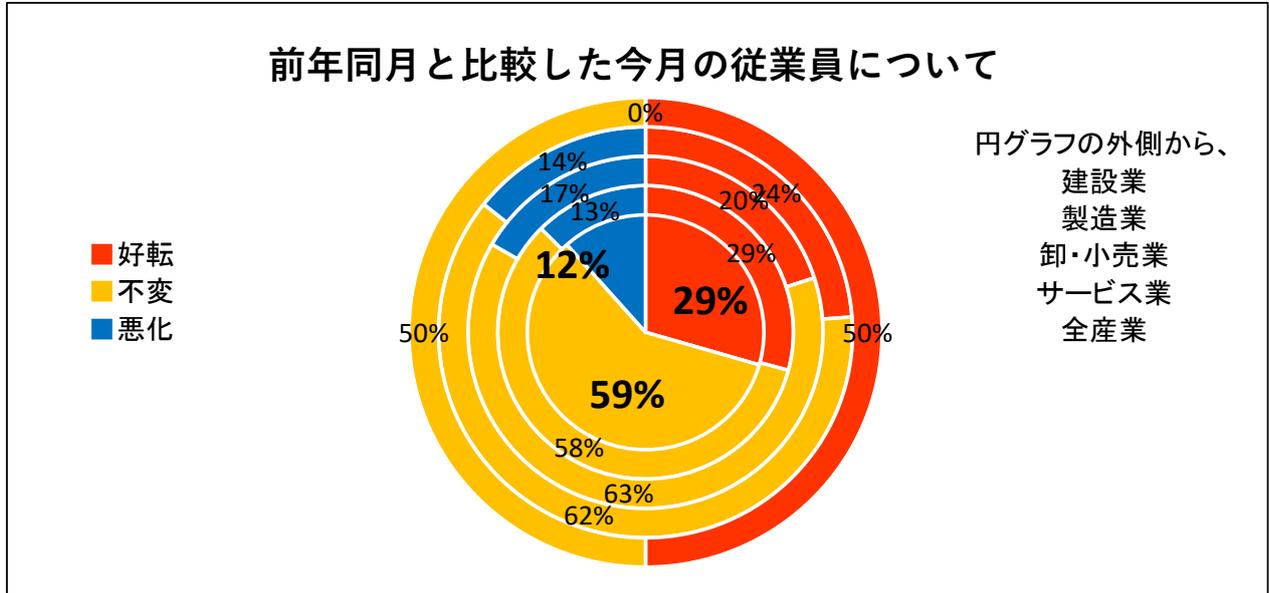
	令和5年						先行き見通し
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月(9月~11月)
全産業	▲75.9	▲65.6	▲62.3	▲74.7	▲83.0	▲63.1	▲60.0(▲64.7)
建設	▲68.7	▲45.8	▲40.0	▲39.1	▲55.5	▲50.0	▲40.0(▲44.4)
製造	▲90.0	▲85.1	▲78.2	▲72.2	▲94.7	▲66.6	▲71.4(▲63.1)
卸・小売	▲80.7	▲70.0	▲76.6	▲87.0	▲87.5	▲73.3	▲70.0(▲75.0)
サービス	▲58.8	▲53.3	▲45.0	▲53.3	▲50.0	▲58.3	▲54.1(▲40.0)



【従業員について】

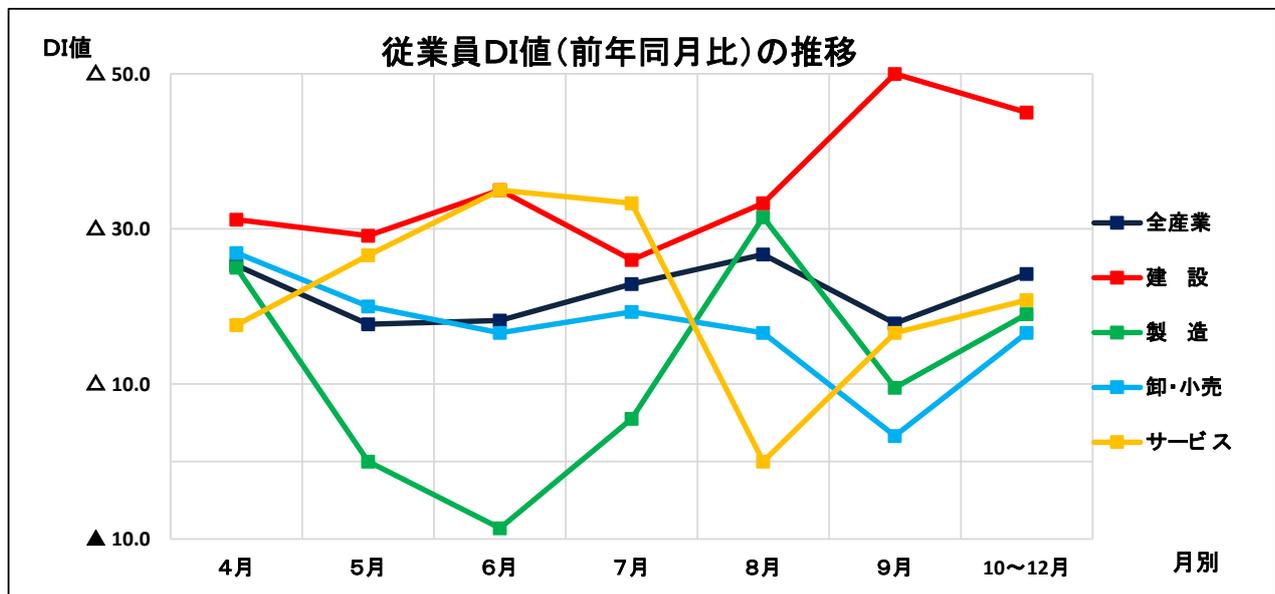
○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△17.8(前月水準△26.7)となり、プラス幅が8.9ポイント縮小した。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、△24.2(前月水準△28.1)となり、プラス幅が3.9ポイント縮小する見通しである。



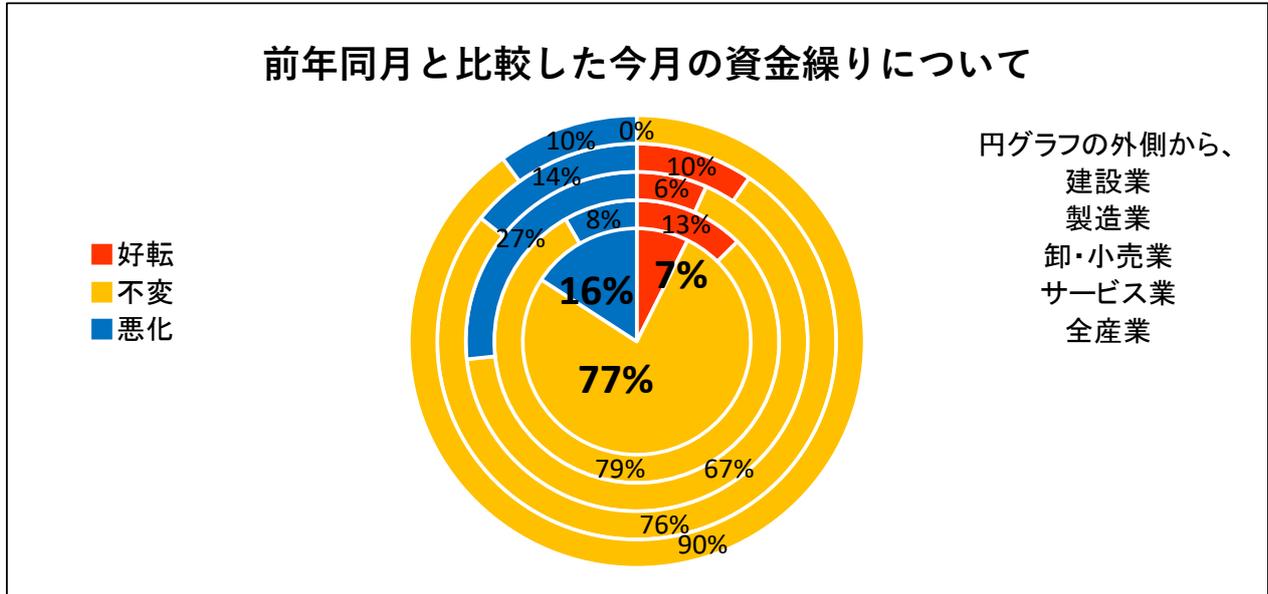
従業員DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

	令和5年						先行き見通し
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月(9月~11月)
全産業	△25.3	△17.7	△18.2	△22.9	△26.7	△17.8	△24.2(△28.1)
建設	△31.2	△29.1	△35.0	△26.0	△33.3	△50.0	△45.0(△38.8)
製造	△25.0	±0.0	▲8.6	△5.5	△31.5	△9.5	△19.0(△26.3)
卸・小売	△26.9	△20.0	△16.6	△19.3	△16.6	△3.3	△16.6(△20.8)
サービス	△17.6	△26.6	△35.0	△33.3	±0.0	△16.6	△20.8(△10.0)



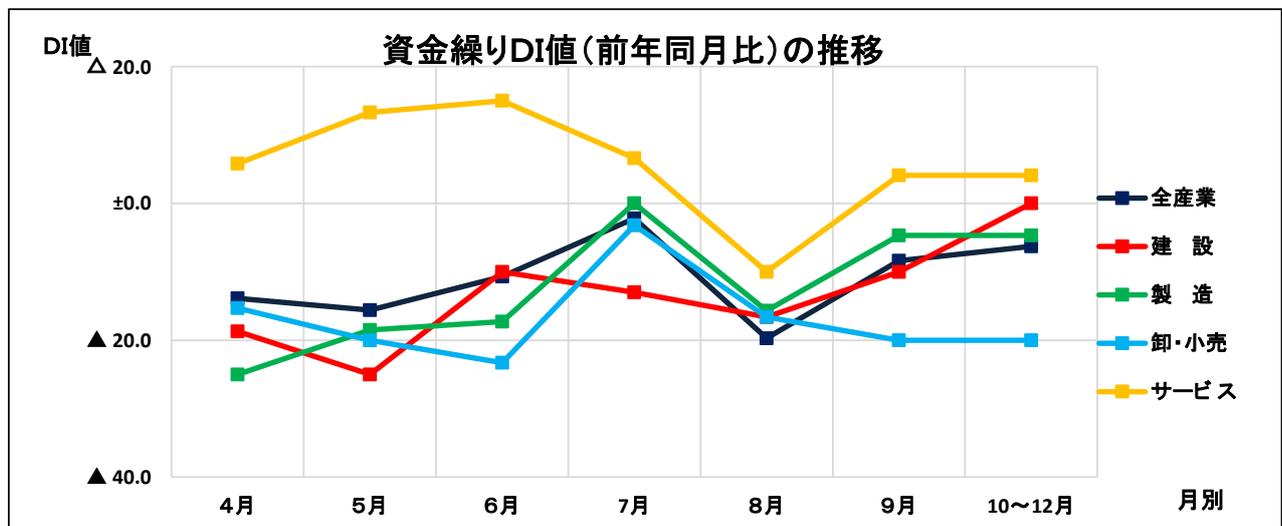
【資金繰りについて】

- 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.4(前月水準▲19.7)となり、マイナス幅が11.3ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲6.3(前月水準▲21.1)となり、マイナス幅が14.8ポイント縮小する見通しである。



資金繰りDI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和5年						先行き見通し
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月(9月~11月)
全産業	▲13.9	▲15.6	▲10.7	▲2.2	▲19.7	▲8.4	▲6.3(▲21.1)
建設	▲18.7	▲25.0	▲10.0	▲13.0	▲16.6	▲10.0	±0.0(△5.5)
製造	▲25.0	▲18.5	▲17.3	±0.0	▲15.7	▲4.7	▲4.7(▲5.2)
卸・小売	▲15.3	▲20.0	▲23.3	▲3.2	▲16.6	▲20.0	▲20.0(▲25.0)
サービス	△5.8	△13.3	△15.0	△6.6	▲10.0	△4.1	△4.1(▲10.0)

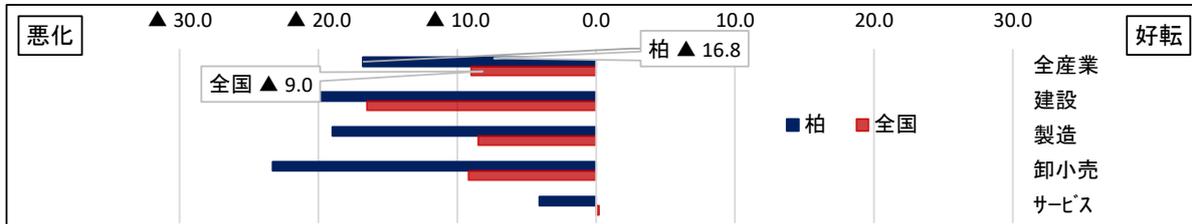


# 全国（CCI-LOBO）との比較

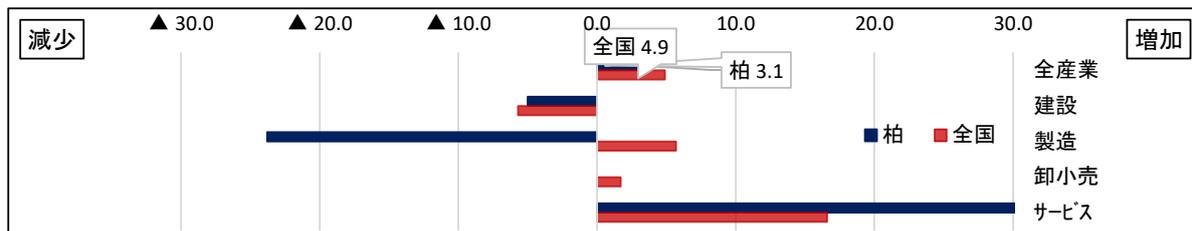
## 【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

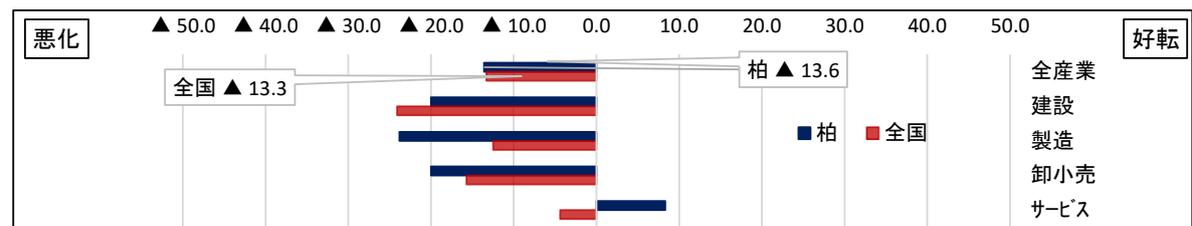
## 【業況D I】



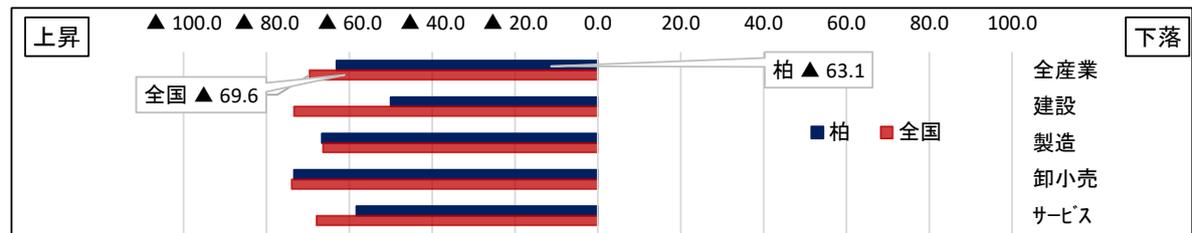
## 【売上D I】



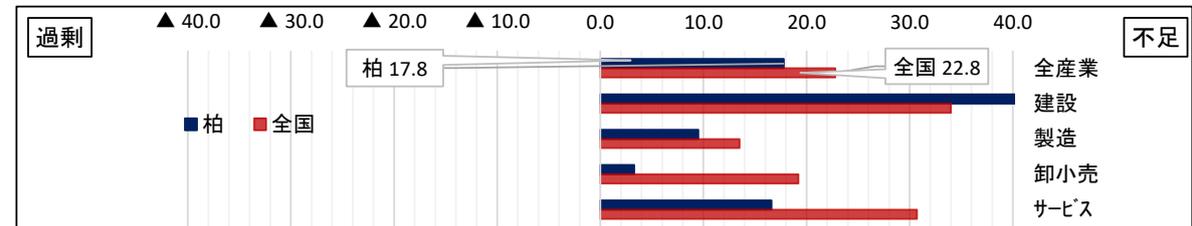
## 【採算D I】



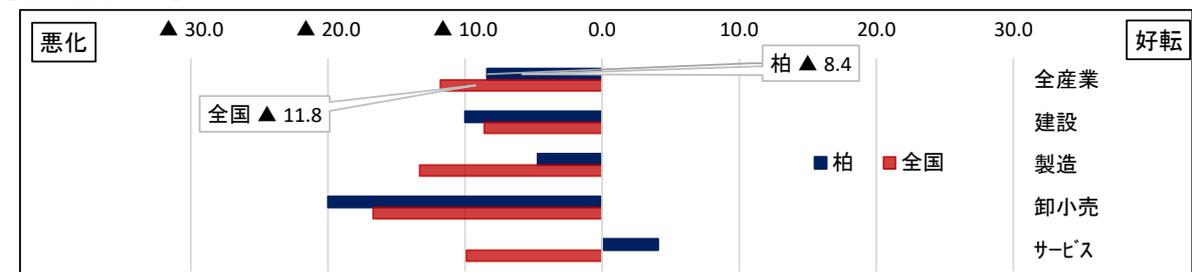
## 【仕入単価D I】



## 【従業員D I】



## 【資金繰りD I】



## 【業種別】 業界内トピックス

業種別	概 況	業 種
建設業	価格交渉するなどして価格転嫁を優先的に行ってはいるが、労務費・販管費の上昇分までは追いつけていない。	管工事業
	仕入れ業者からの上がり続けていた単価が少し落ち着いたが、工務店の単価は以前のままで 厳しい状態が続いている	とび
	柏市では古い畳を引き取ってもらえず、 当社は産業廃棄物業者をお願いしておりますが、 お客様の畳を引き取ると処分費が高額になってしまいます。 柏市が粗大ゴミの様に1畳一律1,100円で引き取ってくれたら、 お客様はとても喜ばれるのではないかと。	畳工事請負・畳製造販売業
製造業	ガソリンや電気料金等の価格上昇に伴う値上げを何とかしたいと考えるが、 具体的に個々の商材に対し、どれだけの価格転嫁が良いのかが難しい。特 に変動するものについては何度も価格改定しなければならず、顧客にも提示 しづらい。エネルギー関連の価格は早く安定させて欲しい。	自動車付属品製造業
	化粧品容器、医療品容器共に既存受注に勢いが無い。大きな案件が具現 化すれば一気に上昇もありうるのだが現時点では確約取れていない	プラスチック加工
	仕事量が多いが人手不足と原材料アップの影響で利益が出しづらい傾向 にある。	その他の機械・同部品製造業
	回復に向かって努力しているけれど、小企業にとっては乗り越える課題に苦 労が多い。	印刷業
	6月～8月は、売上が好転したため設備投資を行った。  岸田総理が経済対策の方針を表明したなかで、「物価高から国民生活を守る」 とあるが、物価高対策として補助金が示されているが、エネルギー高には 省エネ促進策を強化するほうが良いのではないかと感じた。	印刷業
	10月から最低賃金に変更になるので社内でも見直した。請求書を郵送して いたが電子対応する準備を始めた。	金属製品
	半導体関連・工業用ミシンは低調。自動車部品は順調。 材料・仕入高により利益圧迫。	金属素形材製品製造業
	原料及び光熱費は高止まりにつき、収益を圧迫している。 利益はそこそこ確保しているが、売り上げ減の原因（ユーザーの在庫調整な ど）が不明。	その他の鉄鋼業
卸売業は中間業者となることが多いため、量販店・消費者の価格転嫁への 理解が得られなければ板挟みとなり苦しい。	食料・飲料卸売業	

## 【業種別】 業界内トピックス

業種別	概 況	業種
卸・小売業	新型コロナの流行の波が上がっていると思われる中でもお客様の動向は変化なく、外出関連の需要は大きい。ただ、インバウンドは全く動きがない。価格に敏感な傾向は変わらず。	大型小売店
	新型コロナウイルス関連の段階的な規制緩和に伴い、外出機運が高まった今年は、徐々にショッピングも都心回帰傾向にあり、全国展開の店舗や高単価商材の店舗については準核都市が苦戦している状況。 また、一方で原材料や電力高騰に伴いコストが増加傾向にあるため、利益ベースでは厳しい状況が続く。	その他の各種商品小売業
	売上は上がっているが、利益は減少。	洋菓子店
	夏休みも終わり、来店客の減少により売上げ減。 引き続き仕入れの値上がりによる収益の減少。	その他の各種商品小売業
	8,9月は暑さのためか、人通りも少なく、イベントも少なく、経営は非常に厳しい状況でした。	花・植木小売
	物価上昇の影響で嗜好品(ケーキ)の購買が鈍ってる様に思われる	洋菓子店
サービス業	猛暑の影響によりせっかくできたお客様が離れてしまった。 光熱費が上がっただけでなく、最低賃金も大幅に上がり業績が悪化する見通し。	ゴルフ練習場
	コロナ明けで、社会情勢は元に戻りつつあるものの、燃料費の高騰が大きく収益に影響を与えています。加えて輸送運賃は据え置かれてる状況で、ここ数年は更に厳しくなるのではないかと危惧している。	一般貨物自動車運送業
	柏1小の柏中への併合は不動産や安全な学区変革に朗報だと思います。	不動産賃貸業
	インボイス導入による事務処理や取引先の対応が大変。体力の無いところは、きつい徴収方法だと考えています。	不動産賃貸・管理業
	コロナにより同業他社の閉店が続いており、結果、競争相手が減少したため来店が増えた。 今まで外出を控えていたが、コロナで落ち着いてきたので、一気に申し込みが増えた。しかしながら、今後どうなるかは未知数であり楽観はできない。 旅行会社の将来を案じ、転職者が増加、ITにより業務の効率化をますます考えなければならない。	旅行業
学習塾は人件費が支出の大半を占めるため、10月以降の人件費上昇の影響を懸念している。	学習塾	

## 【業種別】 業界内トピックス

業種別	概 況	業種
	<p>諸仕入れ、建築費の値上がりが続き、売り・買いの問い合わせ件数も減少している。厳しい暑さの影響もあり、人の動きが少なく全体的に低調している。</p>	<p>不動産管理業</p>
	<p>補助金を利用して太陽光発電を導入していたおかげで、猛暑時期のエアコン代を負担軽減できた。</p>	<p>珠算塾</p>
	<p>「電子帳簿保存法・デジタル化」および「インボイス制度」への対応について、内部的人事資源を要していた。今後は営業環境の変化を把握しつつ、事業継続に努めたい。</p>	<p>地質調査・地質コンサルタント</p>

# 調査要領

回答期間

令和5年9月21日 ~ 令和5年10月4日

調査対象

柏市内175事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	175	95	54.3%
建設	42	20	47.6%
製造	43	21	48.8%
卸・小売	45	30	66.7%
サービス	45	24	53.3%

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こ う3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高（出荷高）	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 （経常利益ベース）	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック（記述式）

## ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

## ※DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
				